

総額は116億6577万円

一般会計

福祉と健康を守る

の老人に敬老記念品	239万円
老人家庭に火災警報器	49万円
老人、独居老人に家庭奉仕員(ホーム)を派遣	636万円
老人、独居老人の寝具乾燥	28万円
障害者に福祉電話を設置	51万円
老人に入浴サービス(新規)	40万円
ール場新設(新規)	480万円



ブなどに補助	227万円
センターの運営管理	3,596万円
の老人に市独自の年金を支給	520万円
害者の日実行委員会補助(新規)	70万円
者の福祉タクシー制度の支給範囲拡	50万円
方に障害者手当を支給し、扶養共済部を補助	352万円



苑建設に伴う負担金(新規)	1,527万円
者にホームヘルパーを派遣	230万円

▷ 準要保護世帯等および難病患者に対し、見舞金を支給 314万円
▷ 福祉保健医療扶助制度の市独自分 377万円



▷ 勤労者に対し、住宅資金の融資と一部利子補助 3,613万円
▷ 各種援護団体、市社会福祉協議会などに補助 848万円
▷ 無認可保育所および入所者に補助 690万円
▷ 母子、障害児世帯に対し補助 420万円
▷ 屋間里親に委託金を支給 237万円
▷ 保育所の運営管理、保育内容の充実 6億2,979万円
▷ 民間保育園に援助 1,140万円



▷ 民間保育園に措置児の保育委託 3,960万円
▷ 母子世帯に水道基本料、くみとり基本料を扶助 224万円
▷ 保健センター建設調査費(新規) 109万円
▷ 乙訓休日応急診療所の運営負担金(新規) 1,337万円
▷ 予防接種の無料化と検診の充実 1,934万円
▷ 胃がん、乳がん、子宮がん、循環器検診など成人病対策を充実 931万円
▷ 母親教室、乳児健診、精神発達相談、歯みがき教室などを充実 688万円



教育と文化の充実

▷ 登下校の安全確保のため交通指導員を配置 240万円
▷ 交通安全ルールの徹底に学年別安全読本を作成 143万円
▷ 児童生徒の各種検診など 3,941万円
▷ 各小中学校施設の整備 6,100万円
▷ 教材備品の充実 5,556万円
▷ 修学旅行、遠足に補助 952万円
▷ 私立幼稚園児教材費補助 2,052万円
▷ 留守家庭児童会の保育充実 7,087万円



▷ 婦人会、子供会などの育成、人形劇、高齢者教室など社会教育の充実 455万円
▷ 地区公民館講座の充実運営 1,682万円
▷ 地区公民館の建設(新規) 140万円
▷ 市民会館音楽会の開催 524万円
▷ 5万市民のふれあいと新しいふるさとづくりに、向日市まつりを開催 300万円
▷ 市民総合体育祭の開催、各種スポーツ教室の充実、スポーツ少年団、各種競技指導者の育成および社会体育振興会に助成 657万円
▷ トリムコースの新設(新規) 18万円
▷ 市民体育館建設基本調査(新規) 200万円
▷ 国体向日市準備委員会に補助 50万円
▷ 埋蔵文化財の発掘調査 6,399万円



▷ 森本遺跡の整備(新規) 470万円
▷ 市史編さんにより市の歴史的な発展の足跡を明らかにする向日市史上巻の発刊(新規) 2,661万円

一般会計

七十七億七千八百万円

昭和五十七年度が始まりました。四月から向こう一年間の市政の基本となる予算のあらましをご紹介します。予算総額は、百十六億六千五百七十七万円で、(1)市民の暮らしの環境整備(2)市民の福祉と健康を守り、心ふれあう施策の推進(3)教育と文化の充実(4)まちづくりの三項目を柱として、あすの向日市をつくるための予算となっています。

「市民のくらしを守る」ことを最重点に

歳出

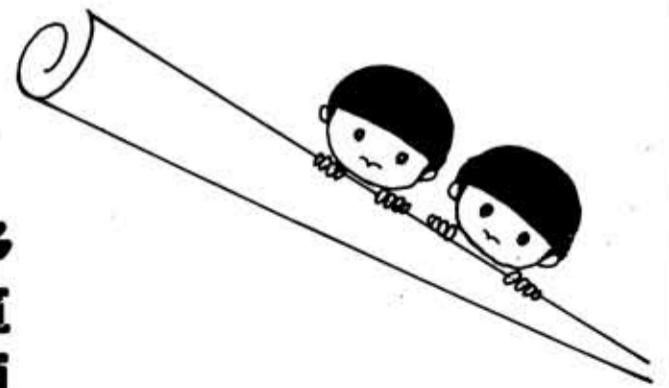
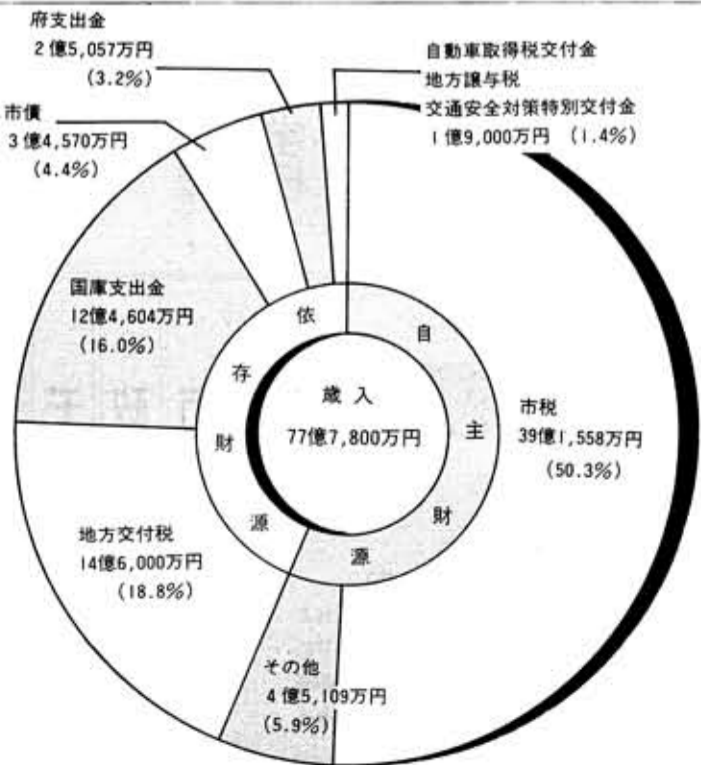
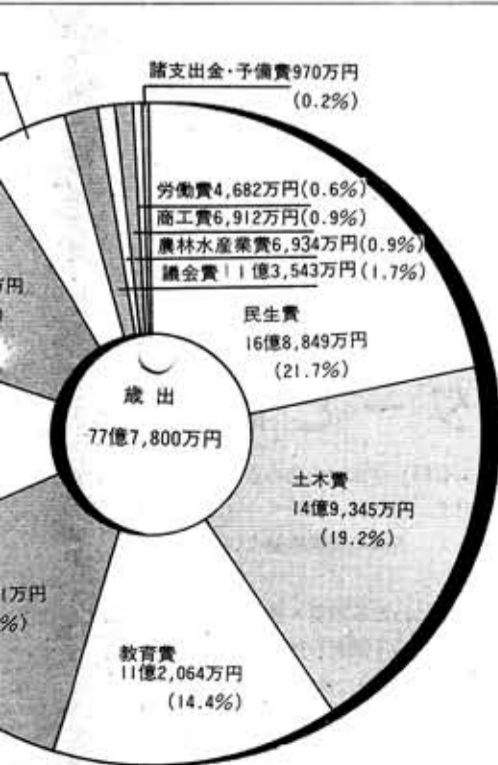
歳出予算とは、一年間の収入を見込んだうえで、何のためにお金をどう使っていくかをきめるものです。五十七年度の一般会計予算額は、七十七億七千八百万円で、目的別にみると、民生費が十六億八千八百四十九万円で、全体の二一・七%、土木費が十四億九千三百四十五万円で一九・七%、教育費が十一億二千六百四十四万円で一四・四%、公債費が十億八千二百七十万円で一三・九%、総務費が八億九千三百七十一万円で一一・五%、衛生費が八億四千六百七十七万円で一〇・八%などとなっています。

主な新規事業は、向日市史上巻の発刊、市勢要覧を発刊、市民体育館建設基本調査、森本遺跡の整備、保健センター建設のための調査

歳入

歳入予算とは、市が行ういろいろな事業をまかなう財源をいいます。歳入の主なもの、市税

国・府支出金および市債です。市税は、三十九億一千五百五十八万円で、全体の五〇・三%、地方交付税は十四億六千万円で一八・八%、国庫支出金は十二億四千六百四十四万円で一六%などです。五十七年度は、引き続き厳しい社会情勢の中で、市の合所事情も例年以上に厳しいものとなっています。このため、市税などの自主財源の確保を図るとともに、国・府に対し、地方税財政制度の抜本的な改善など、引き続き財源確保について強く要望していきます。



図で見る

予算

予算額と構成比